

例会報告 Rotary



ロータリーは機会の扉を開く
第2639回例会 令和3年4月23日
地区協議会報告

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 会長 塚 和信
- 例会場 高山市花里町3-33-3 TEL 34-3988
- 幹事 下屋 勝比古
- 大垣共立銀行高山支店 4F
- 会報委員長 榎坂 純一

<会長の時間>

本日は、お二人のゲストに関わるお話したいと思ひます。

インターアクトクラブは当クラブ創立から3年目の1967年、斐太実業高校に発足されました。斐太実業高校が高山工業高校となった後も継続していましたが、1986年に当時交換学生の受入に好意的であった高山高校へその場を移し、現在の飛騨高山高校へ至るまで発足から53年間という長きにわたり支援させていただいた歴史のある事業です。この歴史のあるクラブを、廃部には苦渋の決断でした。インターアクトクラブ発足当時は、海外へ気軽に行ける時代ではありませんでしたし、地域のボランティア活動が中心だったと思います。その後、生徒たちは年次大会などで交換留学生と交流したり、海外研修に行くことにより国際理解を深める貴重な場でした。しかし、時代と共に海外へ気軽に行けるようになり、若者はバックパッカーや、卒業旅行で海外へ行くようになりました。また、ネット社会となり国際情勢が瞬時にわかるようになりました。最近では、生徒たちの海外研修への興味も薄れ、入部者も減少傾向にあり、1980年以降毎年のように行っていた韓国研修派遣は、2015年で途絶えてしまいました。時代と共に生徒さんの興味も変わり、活動内容が合わなくなっていると思ひます。



荒川先生は、2008年から13年間の永きにわたり飛騨高山高等学校インターアクトクラブの顧問をされてこられました。この間、部員の勧誘をはじめ、年次大会の引率や3年ごとの当番校として飛騨地区研修会の準備や運営など本当に大変だったと思ひます。中でも、一番ご苦労をおかけしたのが2011年にホスト校、スポンサークラブとして開催した年次大会ではないかと思ひます。例年は1泊2日で行っていますが、この年は東日本大震災があり宿泊会場として予定していた乗鞍青年の家が、急遽被災者の宿泊施設となってしまいました。そこで、大変苦労して1日だけのスケジュールに大きく変更し、大会を成功させたという思い出が残っています。本当に、長い間有難うございました。感謝の意を込めて、後程感謝状を贈呈させていただきますと思ひます。

そして、メイ・スイートさんは、学資支援金をお渡ししたく来ていただきました。皆様方の温かいご支援と、高山ロータリークラブ、高山中央ロータリークラブ会員のご支援によりまして、35万円を学資支援金としてお渡しさせていただきます。メイさんには、研究に専念して頑張る9月には卒業していただきたいと思ひます。メイさん母国ミャンマーは皆さんご承知のとおりでございます。会長の時間でも2週にわたりミャンマーについてお話をさせていただきました。国軍の弾圧は日ごとに厳しくなり、700人以上の犠牲者が出ています。なかなか事態は沈静化しそうになく、インターネットもほぼ遮断状態ということで、メイさんも家族や友人などの安否が心配だと思ひます。一刻も早く国内情勢が安定し、メイさんの研究が母国の発展に貢献できることと、将来日本との友好関係が深まるような活動をしていただければと思ひます。

<幹事報告>

- ◎ガバナーエレクトより
 - ・2021年地区研修協議会 修了証書 鴻野 幸泰 さんへ
- ◎ガバナー事務所より
 - ・2021年バーチャル国際大会オンライン登録について ご案内
- <受贈誌>
 - 下呂RC (会報)

<出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
30名	-	30名	36名	83.33%

<本日のプログラム> 支援金贈呈



2020年4月から2021年3月まで米山奨学生世話クラブとして受け入れていたメイ・スイートさんへ支援金を贈呈しました。メイさんはコロナの関係もあり卒業予定がこの3月から9月へ延期となってしまいましたが、米山奨学金の支給は延長されず、追加で必要となる学費の算段がついていませんでした。そこで当クラブ会員、および近隣の高山RCおよび高山中央RCへも支援金を募り、この度贈呈する事が出来ました。



岐阜大学電子情報システム工学 博士課程 メイ・スイートさん
まずはロータリー奨学基金に感謝します。私は2020年4月から1年間の奨学金プログラムを終了しました。しかし、高山西ロータリークラブは、私の博士課程の延長のための授業料を引き続き支援して下さいました。みなさまのサポートがなければ、私は博士号を取得することができません。私の日本での生活を支えてくださった皆様のご厚意に心から感謝申し上げます。高山西ロータリークラブは、日本の家族のようです。たった1年しか経っていないのに、このクラブ会員とはいい思い出がたくさんあります。私はみなさまの優しさを決して忘れません。そして、私はみなさまからサポートされた授業料で博士号を取得することを約束します。ロータリー会員の皆様、ありがとうございます。機会があればもう一度会いたいです。

例会報告

感謝状贈呈



13年間の永きに渡り飛騨高山高校インターアクトクラブ顧問として生徒指導にご尽力いただいた荒川一弘先生へ感謝状を贈呈しました。

飛騨高山高等学校

荒川 一弘 先生

一年以上のご無沙汰をしてしまいました。皆様のお元気そうなお顔を拝見でき嬉しく思います。昨日高山にも無印良品がオープンしましたが、始まりがあれば終わりが、3月でのインターアクトクラブの終結に思いを馳せる次第です。まずは歴代の会長、幹事、そしてインターアクト委員長はじめ会員の皆様に御礼申し上げます。大変お世話になりました。



「教員の常識は世間の非常識」などと言いますが、校内に閉じこもって満足しがちな日常生活の中、皆様との活動で学校とは別世界を見せて頂き、私自身も大変勉強になりました。もちろん生徒も、高校生となりますと、なかなか地域の大人との接点が少なくなりがちな中で、皆様と交流させて頂いた事は貴重な経験となったと思っています。

13年間振り返ってみますと、やはり大きなものは2011年のインターアクト年次大会で、本日はその際に製作した色が不評だったTシャツも持参しました。皆様覚えていらっしゃいますでしょうか？当時は朝6:30に実行委員長の田近さんから電話連絡が入る日々でしたが、開催目前で事務局中澤さんが骨折離脱され、急遽門前さんにピンチヒッターとして大車輪の働きをしていただきました。そして近い所ではやはりスカイパークの遊歩道整備です。これは教師部会の帰りに寄った四日市のひもの市場で決定された事業でしたが、作業当日の田中武さんがハンマーを振る様子や内田さんのジーンズ姿は目に焼き付いていますし、今でも現場を通るたびに誇らしく思えるものです。

インターアクトクラブとしては活動終了となりましたが、今後また何かで一緒させて頂く事が可能な機会がありましたら是非お声がけいただきたいと思います。本当にありがとうございました。

地区協議会報告

次期幹事 向井 公規

4月18日(日)にグリーンホテルにて、高山RCと合同で地区協議会に参加して参りました。当クラブからは9名、高山RCからは20名の出席でした。オンラインでは当クラブから3名出席頂きました。



今回のホストクラブは、伊勢中央RCでした。リモートでの地区協議会ですが、ご尽力によりスムーズな進行でした。

開会セッション、第1セッション、閉会セッションの3部構成で、開会セッションでは13時に点鐘し、国家と「奉仕の理想」を斉唱の後、ホストクラブ会長、ガバナーエレクト、ガバナー、ガバナーノミニの挨拶が続きしました。

第1セッションでは、「時期RIテーマと地区活動方針」として、ガバナーエレクトの浦田幸一さんより講演がございました。その中で、RI会長エレクトのシェカール・メータさんの、メッセージ動画を拝聴しました。目標として「会員を増やしてロータリーの参加者基盤を広げる」「世界に奉仕してより大きなインパクトをもたらす」という2つを掲げられています。そのために、Do More Do Grow(行動し成長しよう)、Each One Each Bring(会員全員が一人をお誘いする)事により、その目標を実現していきたいとの内容でした。

閉会セッションでは、次年度開催地のホストクラブの発表があり、次年度は岐阜RCとなります。岐阜RC会長の挨拶、総評がありまして閉幕となりました。閉幕後、次年度ガバナー補佐であられる高山RCの住さんよりご挨拶も頂きました。

分科会に関しては、今回DVDの配布により、各自で視聴する形でした。他の分科会も見れる形であり、このような分科会も良いのではと個人的に思いました。

私は、戦略計画分科会を拝聴しましたが、次年度ガバナーの浦田幸一さんは、地区方針として「つねに超我の奉仕を胸に」と掲げられています。他者を優先し自身の利益を後にする行い、また利益は追及するものではなく付いてくるという意味の「先義後利」という考えを持っておられます。また、地区方針を実践する上での最重要目標として、「会員維持の増強とクラブの基盤強化」「職業奉仕の理念と日本のロータリー文化の維持」「ロータリー財団活動支援のための寄付奨励」「公益財団法人米山記念奨学会支援」の4つを設定されています。

以上、私からの地区協議会のご報告とさせていただきます。

堀 幸一郎



昨年10月に高山西ロータリークラブに入会させて頂きましたが例会以外の会議に初めて出席させて頂きました。また高山グリーンホテルで開催されることでZoom会議の設営のお手伝いもさせて頂きました。高山グリーンホテルの会場は都内のホテルで行うIT関連のセミナー会場とよく似ていて洗練されており、新型コロナウイルス感染症対策もしっかり出来ており今後様々なイベントを行う際、大変使いやすい会場だと感じました。

さて、地区研修・協議会に参加しての感想ですが、最初Zoom会議を行うのに何故リアルな会場に集まるのか理解できませんでしたが、いざ集まってみると何故か懐かしく新鮮でした。高山ロータリークラブの方も一緒でしたので総勢3~40名程となりました。同じ時間に、同じ空間を共有する事はやはりインパクトがあり、リアルに集まることの意義を改めて感じる事ができました。

今回の地区研修・協議会はZoomを使用し、伊勢の講師の方が一方的にお話する形式でした。大きく分けて、開会セッション、第一セッション、閉会セッションの3部で構成されており例年ですと、このあと分科会が開催されるのですが今年は新型コロナウイルス感染症対策で分科会はDVDを配布する事で閉会セッションで散会となりました。

お話の中で印象的な事は、外国の方が講師として登場されたこと(ビデオ)、奉仕をすることで人生を豊かにするという事、会員増強が必要だという事、日本のクラブは比較的うまく運営できている事、等です。

例会報告

正直、まだロータリークラブがどのような組織なのか理解できておりませんが、配布されたDVDの中の分科会コンテンツの内容「新会員研修分科会」を繰り返し視聴できるので安心しております。

また会場で、お見受けした高山ロータリークラブの方々に、どの様な方がロータリアンとして活動されているのか把握できた事は大変参考となりました。今後自分がどの様に変化するのか定かではありませんが、人生を豊かにしたいという思いは強く持っておりますので、更に勉強させて頂こうと思います。若輩者ですが、これからも宜しくお願い致します。

田中 晶洋

今回は初のズーム開催による地区協議会ということでした。分科会ごとのズームは難しいとのこと事前に分科会ごとのDVDの映像の準備等、ホストクラブの伊勢中央ロータリーの会長濱千代裕章さんが、今まで経験したことのない形式だったので準備が大変だったと言っていました。前日の晩に分科会のDVDを家で見たのですが、いつもならばうっかり聞き逃してしまうような内容も、DVDをリプレイして聞き漏らすことなく聞いたのは良かったと思います。

第1セッションはガバナーエレクトの浦田幸一さんの講演でしたが最初にRI会長エレクトのスピーチ映像が流れました。ペッツ用の画像だということでしたがインドのシェカール・メータさんのスピーチはとてもエネルギー溢れる印象を受けました。各ロータリアンが新会員一人を入会するように働きかけましようと言っていました。もしそれが実現すれば会員は単純に2倍になるわけで、そのためには会員がロータリークラブに入って良かったと思うこと、心から友人を誘えることが大切だなと思いました。

次に、ガバナーエレクトの浦田さんのお話で印象的だったのは、船は港にいれば安全ですが、港にいないことが目的ではない。人生は冒険でありメンテナンスではないという言葉です。自分は趣味でヨットに乗るのでこの言葉はとて分かりやすかったです。港の中と港を出て外海を帆走時の風や波は雲泥の差があります。それでも大海原へと駆り立てるものは自分の中の冒険心だと思います。会社経営もロータリーの活動も現状より一歩でも半歩でも日々進化し続けることが大切だと感じました。

榎坂 純一

2021年4月18日(日)にリモートで開催された「地区研修・協議会」のご報告をさせていただきます。今年は、コロナ禍という事もあり、初のリモート開催でした。私も自宅からリモートで参加しました。また、通常同時刻に行われる分科会は、事前収録されたDVDを視聴する形でした。何もかも初めての試みとのこと、開催までに大変なご苦労があったことと思います。

さて、本会は、ホストクラブである伊勢中央RC濱千代裕章会長のあいさつから始まり、会長エレクトシェカール・メータ氏の挨拶(英語・字幕)、剣田ガバナーの挨拶などが続きました。その中で皆様が一貫しておっしゃっていたのが「会員増強」です。コロナウイルスの影響で、どの地区も会員数が減少したとのことでした。継続的にロータリークラブを運営していくためには、今こそ会員増強が急務であると改めて認識しました。

約2時間の本会終了後、通常であれば会場を分かれての分科会になるかと思えます。しかし、今回のリモート開催では、事前配布のDVDを視聴してくださいとの事で15時には終了しました。

DVDでは「奉仕プロジェクト分科会」の「国際奉仕委員会」の部分を見ました。奉仕部門は「地区内すべてのクラブ会員が、ロータリークラブの一員であることに誇りを持ち、ロータリー旗の下で地域・海外で奉仕プロジェクト活動を実践する。その結果として、現地の人々と『とも』に自らの起こした活動を追い求める行動こそがロータリーの理念・理想である」との考えの下、活動を行っていくとの事でした。その後、活動事例が報告され、約700万円規模の事業も行われていることを知りました。補助金を使う事で、主催クラブの持ち出しを極力抑えながら、数百万単位の事業が出来ることはとても魅力で、今後活用していくことも視野に入れるのもアリだと感じました。

しかし国際奉仕は、他国への奉仕であるため利害関係者も多く、その調整は膨大でさらに複数年にまたがるのが想定されます。そのため、事業の引き継ぎやクラブ内で事業に対するモチベーションを維持し続けることが大きな課題であると考えられます。このような課題を解決しながら、国際奉仕の活動を行っていく事が今後各クラブに求められている事の一つだと感じました。

伊藤 松寿

次期ロータリー財団委員長として参加させていただきました。当クラブでは毎年、会員一人あたり150ドルを年次寄付として地区に送金しており、その額にPHFとしての寄付金を追加した額を基に、3年後より地区財団活動資金(DDF)として地区補助金という形で、クラブに還元されています。近年、当クラブでも各年度、各会長の方針により様々な事業が展開され、次年度も10月31日に、活動が予想されています。

<ニコニコボックス>

●堀 和信さん、下屋 勝比古さん

1. 飛騨高山高校 荒川一弘先生のご来訪を心より歓迎いたします。長年にわたりインターアクトクラブ顧問として大変お世話になりました。
2. 米山学友のメイ・スイートさん。変わらず大変な状況が続いていますが、当クラブはいつもあなたの無事の就学・研究と祖国の平安を祈っています。
3. 地区研修会に出られた皆様お疲れ様でした。次年度の準備を着々と進めて下さい。次回例会は5月14日です。それまで新型コロナウイルスには気を付けてお元気にお過ごし下さい。

●鴻野 幸泰さん、向井 公規さん

本日は地区研修協議会報告会となります。出席いただきました12名の会員様、当日はお疲れ様でした。本日伊藤さん、田中晶洋さん、榎坂さん、堀さんに報告していただきますのでよろしくお願い致します。また本日例会終了後、現・次期部門長及び委員長の引き継ぎ会となります。お一人で引き継ぐ方と引き継がれる方がダブる方も見えますが、お忙しい中大変申し訳ございませんが、お時間調整しながら引き継ぎ会のご協力をよろしくお願い致します。

●米澤 久二さん

鴻野エレクト、向井副幹事、先週日曜日の地区協大変お世話になりました。グリーンホテルの新しいホールでの研修会大変ためになりました。なお2022年度の国際ロータリーの会長は初めての女性になるみたいです。



例会報告

●挾土 貞吉さん

米山学友メイ・スイートさんようこそ。今日のスピーチ心して聞かせて頂きます。私共コロナでめげているのに、貴女の母国でのクーデター、テレビ・新聞報道で知るにつけ、家族と離れて暮らすメイさんのお気持ちが痛い程伝わってきます。再度の民主化勝利と世界平和ひたすら願っています。御身大切にして日本、岐阜大学での勉強と暮らし頑張ってください。また高山西クラブへ遊びに来てください、待っています。

●坂下 六代さん、内田 幸洋さん、古橋 直彦さん、米澤 久二さん、門前 庄次郎さん、鴻野 幸泰さん、垣内 秀文さん、新井 典仁さん
荒川先生、本日はようこそお越し下さいました。インターアクトクラブがなくなって先生と例会場でお会いする事が無くなると思うと寂しくなって来ます。振り返ると10年前「インターアクト年次大会」の折、毎日のように連絡しお会いして、ご迷惑をかけた事を思い出します。でも無事終了し、今となっては良き思い出となっています。またスカイパークの遊歩道整備の折にもお世話をおかけしました。生徒たちと一緒に汗を流す事が出来て良かったと思っています。有難うございました。これからも飛騨高山高校一筋(?)でご活躍される事をお祈りしています。

●杉山 和宏さん

この度、西クラブのホームページのリニューアルを弊社ディックナレッジテクノでさせて頂きました。誠にありがとうございました。なおセンスが無い!等のご意見は弊社担当までお申し付け下さい。

●向井 公規さん

昨日は家内の誕生日で、きれいなお花が届きました。本当にありがとうございます。寒暖差が激しく体調を崩しそうですが、夫婦共々元気に過ごしていきたいと思えます。

●平 義孝さん、斎藤 章さん、井辺 一章さん、田中 武さん、

塚本 直人さん、田中 晶洋さん、田邊 淳さん、松田 康弘さん
荒川先生、永い間インターアクト活動にご尽力いただき感謝いたします。ありがとうございました。また、大型連休を前に来週にも緊急事態宣言が出されるようです。春の陽気の中、皆さん静かにお休みを楽しみましょう、素敵なGWを!!

「一言」 直前米山奨学委員長 挾土 貞吉

私は2019~2020年度の我が西クラブの米山奨学委員長を務めあなたの受入を担当してお待ちしていましたが、コロナ禍により延期となり直接の触れ合いはありませんでした。しかしメイさんの母国のクーデターを知るたび気が重く、我が娘二人アメリカに在住、今の人種差別の報道と重ねて見る時、人類愛・倫理道徳・民主化・世界平和の必要性と、今コロナまん延は無関係でなく人間社会の格差・分断・利己主義を危惧し世界に反省を促し攻め入っているように見えて仕方ありません。若く将来有望なメイさんの日本の生活と勉学が世界平和の創造と維持に貢献されることを希望してやみません。

「追伸」

別紙記事を私挾土貞吉の自己紹介のつもりで当クラブの会長当時の会報を同封させて頂きました。なお私の病気、家族、職業、生き様は大の仲良しである、貴女のカウンセラー伊藤松寿さんに聞いて頂ければ良く分かります。くれぐれも御身大切にお暮らしを、幸せ祈っています。

